

| | |
|------------------|--|
| 日 時 | 令和5年8月31日（木） 9:00～11:30 第11回経営会議 |
| 出席者 | 平原副市長、城副市長、伊地知副市長、大久保副市長、技監、政策局長、総務局長、財政局長、市民局長、中区長 |
| 欠席者 | 温暖化対策統括本部長 |
| 議 題 | 3 第2期横浜市自殺対策計画（素案）について【健康福祉局】 |
| 議 事 要 旨 | <p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度から令和10年度の5年間を計画期間とする「第2期横浜市自殺対策計画」を策定する。 ・ 近年の自殺の傾向を踏まえ、重点的取組として、①こども、若者への支援の強化、②女性への支援の強化、③自殺未遂者支援の強化、を定め、全市的な取組を展開する。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市の自殺者数は減少傾向にあったものの令和元年から増加に転じており、コロナ禍で女性や若年層等の困難・生きづらさが顕在化したと考えられる。 ・ 第2期計画は「こども・若者の自殺対策の強化」、「女性に対する支援の強化」や「自殺未遂者への支援強化」を重点施策に位置付け、本市の課題を踏まえた自殺対策につなげる。 ・ 自殺対策を支える人材育成として、WEB 学習等の環境を整備し、市民等にゲートキーパー養成を拡大する。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性に対する支援の強化について、なぜ女性の自殺者数・自殺死亡率が増加しているのか分析することで、他局の取組（政策局の男女共同参画等）からも自殺対策を支援することができる。 ・ 要因が複合的ではあるが、DV や生活苦に対する対応も自殺の抑止に繋がるのではないか。 <p>【結論】</p> <p><u>主な意見を踏まえつつ、局案について了承。</u></p> |